金城学院大学　シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37910001
授業科目名(Course name)	古典舞踏		
担当者(Instructors)	市瀬 陽子		
開設学部学科(Department)	文学部　音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	262
開講クラス(Class)	音３・４	開講形態 (Course format)	演習
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 集中講義	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	

他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)

■授業の概要(Course outline)

15世紀から19世紀までの西欧宮廷舞踏・社交舞踏を実習します。

パヴァーヌ、メヌエット、ワルツなどを始めとする舞曲について、１）舞曲に関する講義、２）ダンスの実習、３）舞曲の演奏実習、などを組み合わせて授業を進めていきます。
舞曲のリズムやキャラクターを理解するとともに、ヨーロッパの歴史や文化への理解を深め、自然で優雅な所作を学びます。その体験を演奏表現や舞台表現へと結びつけ、さらに音楽指導法へと応用する方法を学びます。

■到達目標(Course goals)

バロック期を中心とした様々な舞踏を経験し、その音楽的な特徴を理解することができる。

■履修上の留意点(Important points)

ダンス実技に対応した服装（動きやすい服装と、柔らかいシューズ）で参加すること。詳細は授業初日に指示します。

■学位授与方針 (Diploma policy)

１．知識・理解

音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。　○

２．汎用的技能

日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。　◎

３．態度・志向性

自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。　◎

■授業計画(Lesson plan)

1. 演奏／舞台表現の基礎：　姿勢、歩き方、コミュニケーション
2. ルネサンス期の音楽とダンス（１）　ブランル
3. ルネサンス期の音楽とダンス（２）　パヴァーヌとガイヤルド
4. イギリスのカントリーダンス

5. モーツァルト時代のコントルダンス
6. バロック期の音楽とダンス　～ダンスの基礎と舞踏記譜法について
7. 18世紀の舞曲（１）　メヌエット
8. 18世紀の舞曲（２）　サラバンド
9. 18世紀の舞曲（３）　クーラント
10. 18世紀の舞曲（４）　ガヴォット
11. 18世紀の舞曲（５）　ブーレ
12. 18世紀の舞曲（６）　ジーグ
13. 19世紀の舞曲（１）　ドイツ舞曲とワルツ
14. 19世紀の舞曲（２）　ポルカとポロネーズ
15. 舞踏会：　実習内容のまとめ

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

各回のテーマとなる舞曲について、1）音楽事典を調べる、2）自分のレパートリーを確認する、などの準備をしてください（予習）。
予習内容を踏まえ、授業後に各回の内容をまとめておいてください（復習）。
最後に、全体を総括してレポートを作成し、提出します（試験に該当する最終レポート）。

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

実習する舞曲について、無理なく演奏できる曲を自由に選んで準備しておいてください（課題）。
授業内で演奏することにより、ダンスと音楽の関連をより深く理解し、演奏表現に活かすことができるようになります。演奏とダンスの関係を理解する上で必要なことについて、具体的なアドバイスを行います（フィードバック）。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

授業内で指示するほか、必要な資料を配付します。

■評価方法(Evaluation method)

一日ごとに提出する小レポート　20%

最終レポート　80%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

集中講義期間中、授業終了後に対応します。